
岐阜県立岐阜商業高等学校

校 長 村山 義広
学校住所 岐阜市則武新屋敷1816-6 電話 058-231-6161

- 1 会議名 令和3年度 第3回 県立岐阜商業高等学校 学校運営協議会
2 開催日時 令和4年2月3日(木)
3 開催場所 書面開催

- 4 参加者
- | | | |
|-------|--------|-----------------|
| 会 長 | 大友 克之 | 学校法人 朝日大学 学長 |
| 副 会 長 | 高木 豊 | 福寿工業(株) 代表取締役社長 |
| 委 員 | 川島 政樹 | カワボウ(株) 代表取締役社長 |
| | 大野 裕美 | 早田公民館 館長 |
| | 藤永 操 | 全日制PTA 特別活動委員長 |
| | 日高 朋栄 | 定時制育友会 副会長 |
| 学 校 側 | 村山 義広 | 校長 |
| | 天池 光治 | 副校長 |
| | 多田 克美 | 事務部長 |
| | 石樽 淳 | 教頭 |
| | 関谷 篤 | 教頭 |
| | 田中 英淳 | 商業教育推進部長 |
| | 下平 昌子 | 教務部長 |
| | 小森 和憲 | 生徒指導部長 |
| | 武藤 純二 | 進路指導部長 |
| | 猿見田 隆宏 | 特別活動部長 |

5 会議の概要(協議事項)

○スクール・ポリシーについて

意見1: 教育目標、3つのポリシーは、いずれも明確な目標である。教職員と生徒、保護者への周知徹底をお願いしたい。

意見2: 全日制的カリキュラム・ポリシーとして「自己有用感を高める教育活動」を展開されるとのことだが、具体的に、どのようなカリキュラム、あるいは教育手法を取り入れることで生徒に自己有用感を持たせることが出来るのか知りたい。

意見3: 具体的で分かりやすい。生きる力の育成というのは、この先の長い人生でとても大切な事で、高校生活でその基礎ができることを望む。

意見4: 本校のブランドに憧れて入学してくる子もたくさんいる。保護者の期待も大きいはず。コロナ禍でも「たくましく生き抜く力」を身に付けてほしい。

○学校経営計画(高等学校版マニフェスト)の成果と課題について

【全日制】

商業教育推進について

意見1: マニフェストには、明確な数値目標も示されていて素晴らしい。その他、本校に育成することが求められる能力や資質として、単にビジネス社会を対象とした連携活動にとどまらず、高齢化が進行する地域社会との連携、また本校の強みでもある卒業生との連携

について、目に見える形で取り込んでもよい。時代の方向性としては、核家族化、個人主義が強まり、すべての生徒に対して「以前のような部活動」を提供し続けることも難しくなる傾向が強まっているように感じている。（当然、日本全体の部活動改革も影響がある）。おそらく学校内の活動だけでは、前述の自己有用感を持たせたり、共助・公助といった意識を育成したりするのが難しくなっていくのではないかと考える。

意見 2：簿記は、初めにつまずくと分からないままになるようなので、個々にあった指導で検定 100%取得をしてほしい。

意見 3：現在の取組・結果は素晴らしいことである。これに「おもてなし」の心が生徒に備わってくると、なおよい。

教務について

意見 1：国や県、企業が公表している統計数字や図表を検索して、それを読み込み、その内容をまとめて文章として表現し、他者に対して発表・デスクッションするような教育活動の発展に期待している。

意見 2：授業に向上心を持って取り組んでいる生徒が多い。今はタブレット等が整備されているが、やはり先生と生徒のコミュニケーションを大切にして授業を進めてほしい。

生徒指導について

意見 1：現状の指導の継続により、良い成果が現れている。

進路指導について

意見 1：模擬授業、出前授業等を通じて、生徒には高等教育で「専門性を学ぶ」ことに興味を持ってほしい。就職については、大学の就活で行われている業界研究などを参考にしているかどうか。

特別活動について

意見 1：生徒会活動で、文化祭や修学旅行など学校行事の全体進行や、各クラブへの活動予算折衝や配分業務に始まり、学外へのボランティア活動や、地元中学校や地域社会に本校を知ってもらうための企画、実行などに取り組んでほしい。

意見 2：小規模ではあるが、文化祭が行われ、3年生はクラス全員で協力してビデオ撮影をし、クラス全員で楽しく取り組んでいた。クラス単位でできることでも、充実した文化祭にできると感じた。

保健厚生について

意見 1：部活動を熱心に進めるほど、感染対策は難しくなる。しかしながら県の方針に従って活動を行うのが「県立高校」なので、ここは「県立だから」という考えを先生方、そして部活指導者が理解をして、他校と足並みを揃えて感染症対策を徹底せざるを得ない。

意見 2：今後も必要に応じてオンラインや時間制の導入などを継続していくしかないように思う。今は、誰がどこでコロナに感染していてもおかしくない。皆がコロナ慣れないよう、今一度まだまだ怖い病気だと認識するような指導をお願いしたい。

定時制について

意見 1：少人数教育の良さを活かして、保護者との連携をより密に行っていくことが重要である。

意見 2：学校と保護者の接点がそれほど無いため、学校を信用して任せるしかないが、何か些細なことでも子どもが先生に相談できると、保護者の方はそれだけで安心（信頼）できる。

意見 3：生徒の学力に差があると推察する。どのような生徒にも根気強く心ある指導をしてほしい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催とした。1年間の学校運営を振り返り、マニフェストや授業アンケート、及び保護者・生徒へのアンケート結果の分析を行い、成果と課題を書面で報告をした。各委員からは忌憚のない、また的確な意見が得られ、大変有意義な会であった。来年度に向けて課題を解決し、生徒を第一に考えて、より良い学校運営を心がけていきたい。